TAZMO®

第48期 年次報告書 2019年1月1日~2019年12月31日

Technology for People's Future

証券コード：6266

本社を岡山市に移転
合併によるグループシナジーを創出
新たな『挑戦』への始まり

代表取締役社長 池田 俊夫

・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
・継続した原価低減による利益率の向上

►業績及び事業報告

売上高におきましては、回復すると思われていた主要顧客である台湾企業の設備投資が振るわず、半導体業界全般でも設備投資は低調に推移いたしました。一部の半導体メーカーは積極的に設備投資を行ったため、搬送装置部門は前年度を上回りましたが、主力事業である半導体装置部門が2年連続の減収となったことをはじめ、洗浄装置部門及びコーター部門も前年度を下回り、プロセス機器事業におきましても減収となりました。

▶ 本社を岡山市に移転

2019年12月9日、岡山県井原市から岡山市北区芳賀に本社を移転しました。

金型･樹脂成形事業におきましても中国経済の減速等による電子機器等の需要低下により減収となりました。表面処理用機器事業におきましては、車載用プリント基板等の生産が好調で、プリント基板メーカーの設備投資が積極的に行われたことから、大幅な増収となりました。以上のことから2019年度売上高は減収となりました。

利益面におきましては、利益率の高い半導体装置部門の売上が減少したことや、研究開発費など販管費の増加により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも減益となりました。

►今年度の見通し

半導体メーカーの設備投資は回復基調にあり、今年度の当社グループの業績につきましては、増収増益の計画としております。しかし、米中の貿易問題や今年に入っての米国とイランの対立、英国のEU離脱など世界情勢が不安定な状況にあり、新型コロナウイルス問題による中国経済の更なる減速が予想されるなど先行きが不透明な状況にあります。

当社グループとしましては、受注済みの案件を確実にこなし、少しでも利益を伸ばせるよう原価低減を進めるとともに、一部の半導体メーカーやプリント基板メーカーの積極的な設備投資を受注につなげ売上･利益を伸ばしてまいります。また、製品の開発を早急に行い、来年度以降の業績を伸ばしていけるよう努めてまいります。

►株主の皆さまへ

2019年12月、創業地の岡山県井原市より岡山市北区芳賀に本社を移転いたしました。新本社には開発･設計･営業部門と管理部門が移転し、井原市では引続き製造部門と調達部門が操業を行ってまいります。新天地で気持ちも新たに『挑戦』を続けてまいります。株主の皆さまには、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶ 子会社のアプリシアテクノロジー株式会社を吸収合併

2020年1月より、子会社のアプリシアテクノロジー株式会社を吸収合併し、新たな年度をスタートしました。この合併により新たなグループシナジーを創出し、企業価値の向上をめざしてまいります。

2019年度　連結業績

当連結会計年度における経営環境は、雇用・所得環境の改善が続き景気は緩やかな回復基調であったものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済のさらなる減速懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、自動車向けなどの電子部品の需要の拡大が見込まれていたものの、中国経済の成長鈍化やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受け設備投資に慎重な姿勢が見られるようになりました。

このような状況のなか当社グループは、顧客ニーズに対応した装置の開発と積極的な営業を展開してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は18,223百万円（前期比4.3%減）となりました。また利益面では、営業利益951百万円（前期比40.8%減）、経常利益911百万円（前期比42.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益726百万円（前期比50.9%減）となりました。

2019年度　連結業績

	2019年度 当連結会計年度 自 2019年 1月 1日 至 2019年12月31日	ご参考 前連結会計年度 自 2018年 1月 1日 至 2018年12月31日	ご参考 対前期 増減率
売上高	18,223 百万円	19,036 百万円	4.3%減
営業利益	951 百万円	1,606 百万円	40.8%減
経常利益	911 百万円	1,577 百万円	42.2%減
親会社株主に帰属する当期純利益	726 百万円	1,479 百万円	50.9%減

セグメント別概況

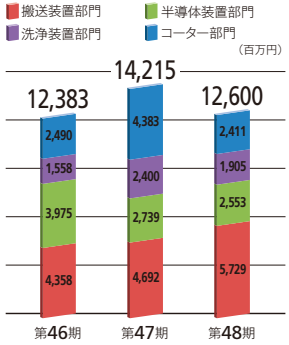
プロセス機器事業

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、スマートフォン関連の需要が低迷している影響により、売上高は2,553百万円（前期比6.8%減）となりました。

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、納期や価格は厳しい状況ですが、一部の半導体装置メーカーの需要持ち直しにより、売上高は5,729百万円（前期比22.1%増）となりました。



洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、海外メーカーでの洗浄装置の検収遅延による影響が大きく、売上高は1,905百万円（前期比20.6%減）となりました。

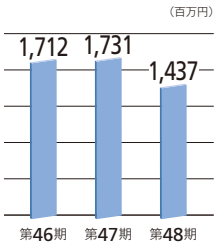
コーター部門

コーター部門につきましては、海外の大型装置の販売減少のため、売上高は2,411百万円（前期比45.0%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は12,600百万円（前期比11.4%減）、営業利益689百万円（前期比45.7%減）となりました。

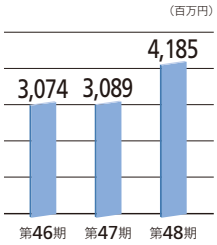
金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、中国経済の減速やスマートフォン関連の需要低迷の影響を受けたため、売上高は1,437百万円（前期比17.0%減）、営業利益30百万円（前期比12.9%減）となりました。



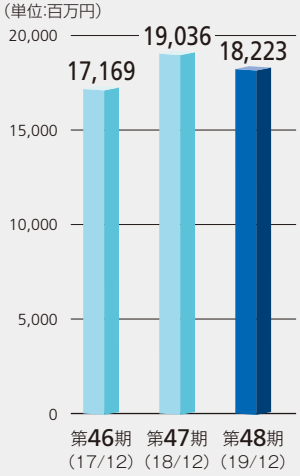
表面処理用機器事業

表面処理用機器事業につきましては、車載用プリント基板の需要が好調で、基板メーカーの設備投資が堅調であったため、売上高は4,185百万円（前期比35.5%増）、営業利益236百万円（前期比21.3%減）となりました。

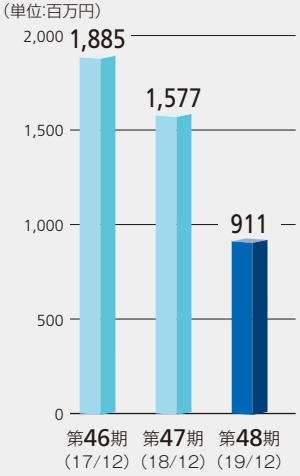


財務ハイライト（連結）

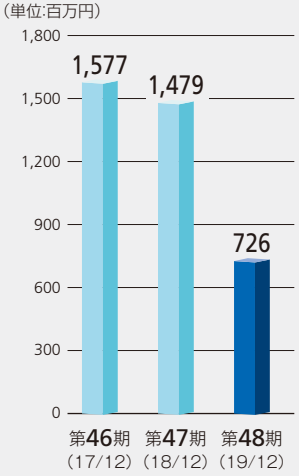
売上高



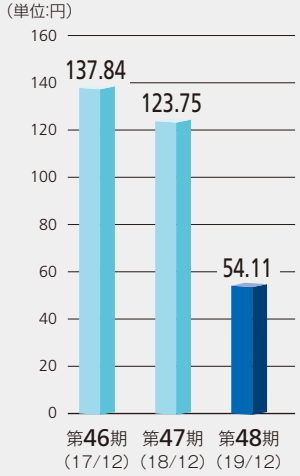
経常利益



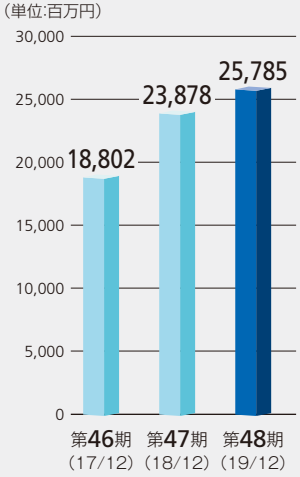
親会社株主に帰属する当期純利益



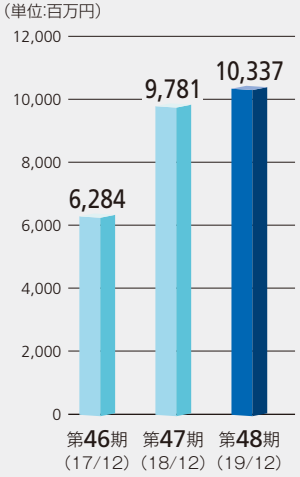
1株当たり当期純利益



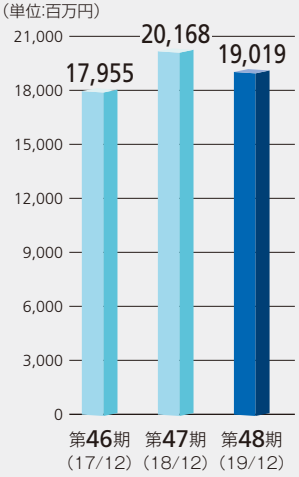
総資産



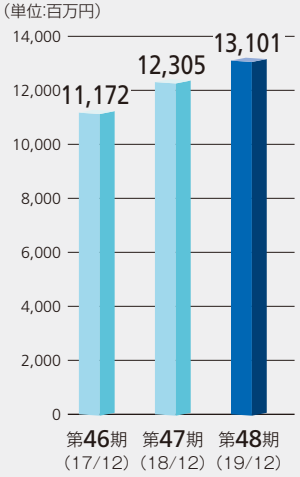
純資産



受注高



受注残高



連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　　目	前連結会計年度末（2018年12月31日）	当連結会計年度末（2019年12月31日）
資産の部		
流動資産	18,243	18,856
固定資産	5,635	6,928
資産合計	**23,878**	**25,785**
負債の部		
流動負債	11,706	11,814
固定負債	2,390	3,633
負債合計	**14,097**	**15,447**
純資産の部		
株主資本	9,589	10,185
資本金	2,724	2,724
資本剰余金	2,645	2,645
利益剰余金	4,427	4,999
自己株式	△ 207	△ 184
その他の包括利益累計額	40	△ 9
その他有価証券評価差額金	△ 0	0
為替換算調整勘定	40	△ 9
非支配株主持分	152	161
純資産合計	**9,781**	**10,337**
負債及び純資産合計	**23,878**	**25,785**

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　　目	前連結会計年度（自2018年 1月 1日 至2018年12月31日）	当連結会計年度（自2019年 1月 1日 至2019年12月31日）
売上高	19,036	18,223
売上原価	13,761	13,811
売上総利益	5,275	4,411
販売費及び一般管理費	3,669	3,460
営業利益	1,606	951
営業外収益	60	58
営業外費用	90	98
経常利益	1,577	911
特別利益	14	9
税金等調整前当期純利益	1,591	921
法人税、住民税及び事業税	283	223
法人税等調整額	△ 191	△ 42
当期純利益	1,499	740
非支配株主に帰属する当期純利益	19	14
親会社株主に帰属する当期純利益	1,479	726

（注）記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

会社概要(2019年12月31日現在)

商号	タツモ株式会社
本社所在地	〒701-1221　岡山県岡山市北区芳賀5311番地
設立	1972年2月
資本金	2,724,067千円
事業内容	半導体製造装置、搬送ロボット、液晶製造装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売
従業員数	279名(連結1,093名)
営業所・工場及び支店	第1工場・第3工場・第5工場／東京営業所
子会社 (2020年3月25日現在)	プレテック株式会社 TAZMO INC.(米国) 上海龍雲精密機械有限公司(中国) TAZMO VIETNAM CO.,LTD.(ベトナム) 龍雲亞普恩科技股份有限公司(台湾) 龍雲阿普理夏电子科技(上海)有限公司 株式会社ファシリティ 富萊得(香港)有限公司 富萊得科技(東莞)有限公司 株式会社クォークテクノロジー
主要取引銀行	株式会社中国銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社商工組合中央金庫 日本政策金融公庫

取締役(2020年3月25日現在)

代表取締役社長	池田俊夫
専務取締役	亀山重夫
常務取締役	佐藤泰之
取締役	河上賢二
取締役	鳥越琢史
取締役	曽根康博
取締役	多賀義明
社外取締役 (監査等委員会委員長)	岡　友和
社外取締役 (監査等委員)	藤原準三
社外取締役 (監査等委員)	石井克典

株式の状況(2019年12月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数…… 40,800,000株

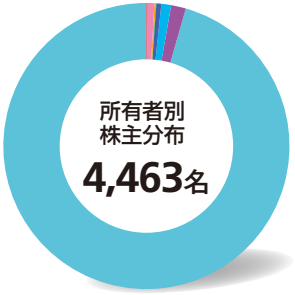
発行済株式の総数…… 13,508,300株

株主数…… 4,463名

大株主(上位10名)

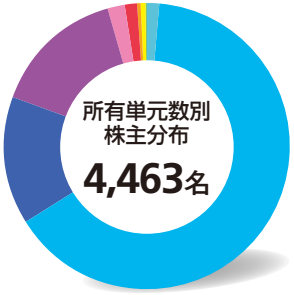
株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	16.54 %
弘塑科技股份有限公司	1,200,000	8.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,021,700	7.56
GOLDMAN, SACHS& CO. REG	685,806	5.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	557,600	4.12
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	400,900	2.96
中銀リース株式会社	304,500	2.25
鳥越　琢史	256,100	1.89
株式会社中国銀行	223,500	1.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	187,000	1.38

(注) 1. 持株比率は自己株式数(1,594株)を控除して算出しております。
2. 自己株式には役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式81,700株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。



- 政府・地方公共団体…… 0名
- 銀行…… 2名
- 信託銀行…… 16名
- 生命保険会社…… 3名
- 損害保険会社…… 0名
- その他金融機関…… 1名
- 金融商品取引業者…… 24名
- その他法人…… 58名
- 外国法人等…… 74名
- 個人・その他…… 4,285名

※自己株式は個人・その他に含めて記載しております。



- 1単元未満…… 73名
- 1単元以上…… 2,887名
- 5単元以上…… 647名
- 10単元以上…… 670名
- 50単元以上…… 83名
- 100単元以上…… 72名
- 500単元以上…… 9名
- 1,000単元以上…… 17名
- 5,000単元以上…… 5名

※自己株式1,549株は10単元以上に含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒701-1221　岡山県岡山市北区芳賀5311番地

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 （〒541-8502） 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 ●お問い合わせ先 0120-094-777（フリーダイヤル） ●各種お手続き用紙のご請求 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	電子公告 公告掲載URL　https://www.tazmo.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

［手続き書類のご請求方法］

■ インターネットによるダウンロード　https://www.tr.mufg.jp/daikou/

ホームページのご案内

タツモのホームページでは当社の最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。

株主・投資家情報

企業情報

https://www.tazmo.co.jp/